



ソマリア NEWS (2017年11月20日)

例年になく、秋台風の多い年となっていますが、皆様お変わりございませんか。本年2回目の「ソマリアニュース」をお届けさせていただきます。

◇三鷹国際交流フェスティバル(9月24日)

毎年、井の頭公園西園にて開催されているフェスティバルに当会も2006年より参加。来場者は4万人で、100近いテントが立ち並ぶ会場内には、世界各国の料理やグッズ、アトラクションが大集合。メインステージでは、国際色豊かな音楽や踊りが繰り上げられました。



◇日本中近東アフリカ婦人会チャリティバザー(10月17日)

東京中央区のホテルで開催されました。当会のこのチャリティバザー参加は、2013年、2015年に続き3回目です。多数の大使館や中東アフリカのNGO団体が参加し踊りもありにぎやかな催しとなりました。



◇9月三重支部では今年も「チャリティゴルフコンペ」が開催され支援金をいただきました。

◇10月1日世田谷のカソリック教会でチャリティバザーが開催され本年も参加しました。

知っておきたい難民の「今」

データ出典: UNHCR Global Trends 2016 (2016年末現在)

難民: 紛争や宗教・国籍・政治的な意見が違うことによる迫害などが原因で、祖国には生命の安全を脅かされるため、やむを得ず他の国に避難しなければならなかった人のこと。

難民の主な出身国上位5か国

1. シリア(550万人)
2. アフガニスタン(250万人)
3. 南スーダン(140万人)
4. ソマリア(100万人)
5. スーダン(65万6000人)

難民受け入れ国上位5か国

1. トルコ(290万人)
2. パキスタン(140万人)
3. レバノン(100万人)
4. イラン(97万9400人)
5. ウガンダ(94万800人)

D 『とらわれて』

～閉じ込められたダダーブの難民～

👤 (ソマリア⇨ケニア)

日本初上映
Eng

Warehoused

アメリカ/2017/英語/70分

監督:
ヴィンセント・ヴィットリオ
アッシャー・エマニュエル



世界最大の難民キャンプ、ケニアのダダーブ・キャンプには長期化する祖国の内戦によって帰郷できず、人生の大半を難民キャンプで過ごすソマリア難民が多く暮らす。人々は第三国定住を夢見つつも、難民キャンプで生業に励み、若者たちは教育を受け、未来への希望を繋いで暮らしている。ダダーブ・キャンプの歴史について説明しつつ、難民や支援者、研究者、あるいはアメリカに定住した人々の語りを通じ、ダダーブを取り巻く世界を立体的に見せる。

E 『ナイス・ピープル』

😊👤 (ソマリア⇨スウェーデン)

Eng

Nice People

スウェーデン/2015/スウェーデン語、ソマリ語、英語/96分/協力:駐日スウェーデン大使館 スウェーデン映画祭

監督:
カリン・アウ・クリントベルグ
アンデシュ・ヘルゲソン

👑 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭 観客賞/ミネート



内戦を逃れ、スウェーデンの田舎町ボーレンゲで暮らすソマリア難民の若者たち。住民との交流が希薄な中、ある地元の事業家が「バンディ」という伝統的な氷上スポーツのソマリア人チームの結成を思い付く。8ヶ月後に迫る世界選手権を目指して特訓が始まる中、若者たちはやがて祖国での過酷な体験や異国での孤独感について胸の内を明かす。果たして彼らはバンディを通じてスウェーデンに居場所を見つけることができるのか――。

[編集後記]今回UNHCRの紹介によるソマリア難民の映画を紹介させていただいた。平和な日本で暮らす私たちには、想像もできないソマリアの人々の苦労・大変さを思い知らされる内容である。

10月14日首都モガディシオでテロがあり、少なくとも200人以上が死亡したと言われている。1991年以降無政府状態が続き複数の武装勢力の対立の中、アフリカ連合軍の支援によって、2012年に統一政府が誕生したものの、全土の統治には至っておらず、イスラム過激派による攻撃が相次いでいる。「過去に例がないくらい恐ろしい事態だ」との声もある。遅々たる歩みであるが、ソマリアの平和、世界の平和のためにさらに尽力していきたいと思う。